

平成28・29年度  
民間競争入札実施事業  
総務省自治大学校施設の管理・運營業務の実施状況について（案）

1 事業の概要

① 委託業務内容

自治大学校に設置されている電気設備、空調設備、衛生設備等の機能を最良の状態に保ち、日常の使用に支障がないように総合的に運転・管理の業務を行うもの。

② 業務委託期間

平成28年4月1日～平成31年3月31日

③ 受託事業者

アズビル株式会社グループ

代表者 アズビル株式会社

構成員 株式会社アール・エス・シー、株式会社ビケンテクノ、日産緑化株式会社、松浦商事株式会社、比留間運送株式会社、野口株式会社、株式会社大塚商会、一般財団法人自治研修協会

④ 契約金額（税抜）

545,901,648円（単年度当たり：181,967,216円）

⑤ 受託事業者決定の経緯

入札参加者1者から提出された企画書について審査した結果、評価基準を満たしていた。

平成28年2月29日に開札した結果、入札参加者が予定価格の範囲内であったことから、総合評価を行い、総合評価点の高い上記受託事業者が落札者となった。

⑥ 選定の経緯

公共サービス改革基本方針（平成19年10月26日閣議決定）において選定された。第91回官民競争入札等監理委員会（平成24年5月30日）において、良好な実施状況であると評価され、新プロセスへ移行した上で、事業を実施することが適当と判断された。

2 達成すべき質の達成状況及び評価

各業務	測定指標	評価
快適な施設利用	○施設利用者の満足度 研修生に対するアンケート調査において、「普通」以上の評価が80%以上を占めること (詳細は別紙参照)	
	平成28年度研修終了時(12課程) 有効回答数 1,040 (回収率 99.0%) 満足 : 64.7% 普通 : 31.2% 不満足 : 4.1%	適 (「普通」以上の評価 95.9%)
	平成29年度研修終了時(12課程) 有効回答数 1,012 (回収率 100%) 満足 : 61.8% 普通 : 32.6% 不満足 : 5.6%	適 (「普通」以上の評価 94.4%)
	○停電・空調停止・断水の発生回数が0回であること	平成28、29年度 適 (発生回数0回)

各業務	測定指標	評価
設備管理	<p>○点検 指定された業務内容を実施し、建築及び設備等の機能及び劣化の状態を調査し、異常又は劣化がある場合は、必要に応じ対応措置を判断し実行すること。</p> <p>○保守 建築及び設備等の点検を行い、点検により発見された建築等の不良箇所の修繕や部品交換等により建築物等の性能を常時適切な状態に保つこと。</p> <p>○空気環境測定 「建築物における衛生的環境に関する法律(昭和45年法律第20号)」を遵守し、各測定等を行い、測定の結果、管理基準に適合しない場合には、その原因を推定し、自治大学校の施設管理責任者に報告を行うこと。</p> <p>○照度設定 施設内の照度については、定期的に計測し、施設の利用者(職員、公共サービスの利用者等)に対して、事務的に支障がないようにすること。</p>	<p style="text-align: center;">適</p> <p>(業務報告書、定例打ち合わせ等から、确实かつ適切に実施されたと認められる。)</p>
警備業務	<p>施設及び敷地内の秩序及び規則を維持し、盗難、破壊等の犯罪及び火災等の災害の発生を警戒・防止することにより、施設利用者(職員、研修生等)の安全かつ円滑な執務環境の確保や保全を図るとともに、安全を守ることを目指し、誠意をもって行うこと。</p>	
清掃業務	<p>指定された業務内容を実施し、施設内外の汚れを除去し、又は汚れを予防することにより快適な環境を保つこと。</p>	
植栽管理	<p>校内の植物を常に適正な状態に保ち、快適な環境をつくること。</p>	
廃棄物処理	<p>廃棄物の処理を确实に行うとともに、廃棄物置き場を清潔に保つこと。</p>	
寝具貸借	<p>過不足なく确实に寝具の搬入を行うとともに、リネン室を清潔に保つこと。</p>	
複写機リース・保守、ファクシミリ保守、製氷機保守	<p>研修生が安心して使用できるよう确实に複写機の設置を行うとともに、定期点検の実施により適正に稼働できる状態を保つこと。</p>	
入寮受付及び退寮説明等、入校経費の徴収、納入業務	<p>各研修毎に确实に入寮受付及び退寮説明を行う。研修期間中は研修生からの質問、要望等に対応し、常に寄宿舎内を快適な環境に保つこと。</p> <p>地方公共団体からの入校経費の徴収、国への納入は确实に遅滞なく行うこと。</p>	

### 3 実施経費の状況及び評価

#### ① 平成28・29年度と平成21年度の実施経費（税抜き）

区分	従来の経費	民間競争入札実施後の経費		従来の経費との差	
	21年度	28年度	29年度	28年度-21年度	29年度-21年度
①定額により定める部分	169,063	170,159	170,159	1,096	1,096
業務委託費基本額	169,063	170,159	170,159	1,096	1,096
設備監視	118,200	/	/	/	/
警備業務	15,497				
清掃業務	10,740				
植栽監理	6,200				
複写機リース	1,152				
ファクシミリ保守	77				
製氷機保守	350				
入寮受付及び退寮説明等	16,847				
入校経費の撤収・納入業務					
②単価契約部分	9,556	12,172	12,173	2,616	2,617
寄宿舎内居室清掃	1,504	3,191	3,077	1,687	1,573
廃棄物処理	1,699	1,845	1,830	146	131
寝具賃借	5,329	6,684	6,763	1,355	1,434
複写機保守	1,024	452	503	△ 572	△ 521
実施経費計(①+②)	178,619	182,331	182,332	3,712	3,713

28・29年度の平均  
3,713 千円  
増加率 2.1%

#### 各業務の単価一覧

単位：円

	単価		
	21年度	28・29年度	増減
①清掃業務			
一般宿泊室	1,000	1,800	800
講師用宿泊室	1,300	3,000	1,700
身体障害者用宿泊室	1,300	3,000	1,700
プリンター室	1,000	860	△ 140
②廃棄物処理			
可燃ゴミ(1kg当たり)	35	52	17
不燃ゴミ(1kg当たり)	35	60	25
廃プラスチック類(1kg当たり)	-	60	-
③寝具賃借			
3ヶ月以上～6ヶ月未満	10,000	11,000	1,000
1ヶ月以上～3ヶ月未満	5,000	5,900	900
6泊7日～1ヶ月未満	2,381	3,000	619
1泊2日～6泊7日	1,810	2,400	590
1泊2日～6泊7日(毛布不使用)	1,333	-	-
1泊2日	571	700	129
④複写機保守			
500枚まで(基本料金)	7,200	1,000	△ 6,200
501枚以上(1枚当たり)	*	2	-

\*2000カウントを超えた場合 2.6

\*8000カウントを超えた場合 2.1

## ② 評価

定額により定める部分については労務単価の上昇等により、従前より微増となっている。また、単価契約部分については、労務単価の上昇に加え、サービス向上のための仕様の変更（寝具賃借において、クリーニング後のシーツ等をビニール梱包することなど）等により、負担が増加しているものの、経費全体としては2.1%の増加にとどまっており、一定の抑制効果はあったものと評価できる。

## 4 民間事業者からの改善提案による改善実施事項等

- ① 民間事業者からの企画提案により、感染症防止対策等の観点から利用頻度が高いエリアの清掃回数を増やしているところ。例えば、各階エントランス・交流ロビーは週2回の清掃であったものを毎日に変更しており、アンケートでも高い評価を得ているところ。
- ② 全般的に施設内の軽微な不具合箇所については、迅速に補修が施され、施設内の安全性の維持に寄与しているところ。

## 5 評価委員会からの評価

業務遂行にあたり達成すべき質については、受託事業者からの改善提案を踏まえたサービスの質の向上等を通じ十分確保されたものと認められ、また、経費についても一定の抑制効果はあったものと認められる。

なお、次期以降においては、複数の入札参加者が得られるよう入札公告や入札説明会をできるだけ早期に実施するなど、さらなる競争性の確保に努められたい。

## 6 全体的な評価

平成22年度から平成24年度及び平成25年度から平成27年度の施設管理・運営業務に引き続き、平成28年度から平成30年度の3年間について民間競争入札実施事業を行っている。

施設利用者の満足度については、研修生アンケートの結果、平成28年度及び平成29年度のいずれも「普通」以上の評価が90%を超えており、基準である80%以上を達成している。これは、研修生等の意見・要望を踏まえた自治大学校からの指示を、受託事業者が適切に対処したことによるものと考えられる。

また、設備管理、警備業務、清掃業務などにおいて問題となる事態は生じず、確実かつ適切に実施されたものと認められる。

経費については、前述のとおり一定の抑制効果があったものと認められる。

## 7 今後の事業について

第3期目の本業務の市場化テストの実施状況は以下の通りである。

- ① 実施期間中に受託民間事業者が業務改善指示等を受けた、ないし業務にかかる法令違反行為等の実績はなかった。
- ② 本事業実施に当たり、自治大学校に設置する評価委員会のチェックを受ける体制を整えている。
- ③ 本事業の入札については、事前の入札説明会には6者が参加したものの、入札時

には1者からの応札にとどまった。

- ④ 対象公共サービスの確保されるべき質や水準について、目標を達成していた。
- ⑤ 市場化テスト開始以降、労務単価が上昇基調にある中でサービス向上のための仕様の変更を行いながらも、従前経費からの増加率は2.1%にとどめることができ、一定の抑制効果をあげた。

以上、①②④⑤については相応の評価ができる一方で、③の競争性の確保に関しては、引き続き慎重に見極めていく必要があると考えられるため、入札情報の周知徹底、入札可能性のある事業者へのヒアリングなど更なる競争性の確保に努めることを前提に、次期事業においても「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」に基づく新プロセスにより、事業を実施することとしたい。

別紙

アンケート結果一覧表

項目	評価				
	年度	満足	普通	不満足	「普通」以上
① 空調管理について	28年度	41.9%	44.1%	14.0%	86.0%
	29年度	36.2%	44.3%	19.5%	80.5%
② 照度について	28年度	56.5%	38.1%	5.4%	94.6%
	29年度	53.3%	39.3%	7.4%	92.6%
③ 警備について	28年度	76.0%	23.2%	0.8%	99.2%
	29年度	73.1%	26.3%	0.6%	99.4%
④ 清掃について	28年度	75.8%	23.6%	0.6%	99.4%
	29年度	75.2%	24.0%	0.8%	99.2%
⑤ 寝具について	28年度	66.5%	30.1%	3.4%	96.6%
	29年度	62.2%	32.4%	5.4%	94.6%
⑥ 寄宿舍管理室の対応について	28年度	71.1%	28.5%	0.4%	99.6%
	29年度	70.8%	29.1%	0.1%	99.9%
合計	28年度	64.7%	31.2%	4.1%	95.9%
	29年度	61.8%	32.6%	5.6%	94.4%